

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

学校法人身延山学園

平成23年度事業報告書 項目

〔1〕法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

○身延山大学

仏教学部 仏教学科・福祉学科

○身延山高等学校

普通科

2. 学部・学科等の入学定員、入学者数の状況（平成23年5月現在）

○身延山大学（合計101名）

仏教学部

仏教学科 定員20名 入学者数17名 編入学者数2名

福祉学科 定員20名 入学者数7名

○身延山高等学校（合計101名）

普通科 定員40名 入学者数36名

3. 役員の数（平成23年5月現在）

○理事 9名（うち、理事長1名）

監事 2名

4. 教員の数（平成23年5月現在）

○身延山大学（合計73名）

仏教学部 教授11名 准教授4名 講師5名

非常勤教員53名

○身延山高等学校（合計21名）

普通科 専任教諭12名

非常勤講師9名

5. 職員の数（平成23年5月現在）

○身延山学園 嘱託1名

○身延山大学 専任14名 嘱託4名 パート3名

○身延山高等学校 専任1名

〔2〕平成23年度の事業の概要

本学園では、建学の精神に謳われた「社会のために身を以て尽くすことの出来る人間の養成」という目標の実現のために、伝統ある僧侶養成に加えて、仏教精神を胸に抱いて福祉に携わる専門家の養成を目指す。

＜学園の使命として以下の点に集約する＞

1. 募集広報の充実
2. 知の創造・継承（研究）
3. 教育機能の充実
4. 宗門連携の実践
5. 学生生徒生活の支援
6. 地域に貢献する学園づくり
7. 社会に期待され活躍できる人材輩出
8. 卒業生に愛される学園
9. 専門性の高い職員育成
10. 健全な財政基盤の確立

・当該年度の主な事業の目的・計画

I 目標の重点

1. 学園
 - (1) 健全な財政基盤の確立
 - (2) 学園の将来を見据えた方向性の確立
2. 大学
 - (1) 入学定員の充足
 - (2) 教育・研究の強化
3. 高校
 - (1) 全国一の学校づくり
 - (2) 社会に貢献できる有為な人材の育成
 - (3) 生徒募集活動推進

II 目標の具現

1. 学園
 - (1) 経費の削減
 - (2) 予算の効率的運用
2. 大学
 - (1) 学生募集のため、全国寺院、宗務所、県内・近県高等学校等への訪問回数の増加
 - (2) 特色あるカリキュラムへ改定
3. 高校
 - (1) 教育活動への取り組み
 - (2) 基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び考える力「確かな学力」を育てる
 - (3) 中学校訪問・広報活動推進

1. 学園

1. 健全な財政基盤の確立

(1) 財政の健全化

① 収入

A 寄付金 — 教育振興基金への寄付金のお願いを行なった。

(24 年 2 月開始 3 月 31 日現在 200 件 4,290 千円)

— 学長、法人事務局長による本山、宗務院、宗門各寺院等への働きかけを行なった。

B 補助金 — 国庫補助金・県補助金の対象となる事業を積極的に行い、交付金の増加に努めた。

② 支出

A 人件費 — 昇給の見直しを行なった。(教職員ともに昇給「0」)

B 個人研究費の削減 — 大学教員の個人研究費を 300 千円から 180 千円に削減

C 図書購入費の削減 — 図書購入費 9,000 千円を 6,000 千円に削減

(2) 主な事業

① 工房の配電盤工事・火災報知機設置工事

② 大学図書館エアコン修理工事

③ 地震による窓ガラス修理工事

④ 身延山高校の空調設備設置工事

2. 学園の将来を見据えた方向性の確立

(1) 自己点検評価委員会の恒常的開催

23 年 7 月より月 1 回開催 委員 7 名

2. 大学

入試・広報部門

1. 入学志願者勧誘

(1) 仏教学科

① 全国寺院・宗務所・同窓会・同窓会長宅等訪問

訪問先 80 先超 訪問時期 5 月 ～ 9 月 訪問者 10 名

(2) 福祉学科

① 山梨県内・静岡・長野県内高校訪問

訪問先 200 先超 訪問時期 5 月 ～ 年内 訪問者 10 名

2. ホームページの改定

ホームページでの広報機能を高めるべく継続して改定を実施。

3. オープンキャンパスの実施

オープンキャンパスを随時設定し、8 月 5 日 (金) には特別開催を実施

合計 20 名の参加者

4. 入学試験の実施

- (1)一般公募制推薦入学試験 A — 11 月(本学) 12 月(東京)
- (2)一般公募制推薦入学試験 B — 12 月(本学)
- (3)一般入学試験 A — 2 月(本学)
- (4)一般入学試験 B — 3 月(本学)

5. 入学者選抜における高・大連携

- (1)特別推薦入学 — 身延山高校の生徒が対象

本学で6人の教員により年12回、高校生特別講座を開講し、同校生徒が受講。身延山大学の講義の実際と魅力を知らせている。講義には毎講義10名～20名が受講。

- (2)指定校推薦入学 — 山梨県、静岡・長野県等の通学圏にある指定校を希望する高校の生徒が対象

過去数年間にわたる受験生の人数、当該学校からの学生の入学後の勉学状況、また当該高校からの申し出、地域連絡性を考慮。指定校の数は現在155校である。

教務部門

1. 学部教育課程

- (1)新入生ガイダンスの実施(4月)
4月の開講前に大学生活を送るうえでの全般的な指導。
- (2)新入生オリエンテーションの実施(4月)
一泊二泊で学外施設にて履修指導、資格関係ガイダンス。
- (3)在校生に対するガイダンスの実施(4月・10月)
履修指導、資格関係ガイダンス。
- (4)ゼミナール・ガイダンスの実施(12月)
2年生を対象としたゼミナール・ガイダンス。
- (5)卒業説明会の実施(12月)
3年生を対象とした卒業論文に関するガイダンス。

2. オフィスアワーの実施

各教員により週に2時間以上実施。

3. 留年者に対する特別指導ガイダンスの実施

各学年終了時点で単位取得状況が芳しくない者に特別指導ガイダンスを実施し、単位取得状況の改善を促した。

学生支援部門

1. 学生への経済的支援

- (1)奨学金制度の説明

4月実施 50名超が参加 学内奨学金については支援委員会で検討、学外資金については申請手続きの補助を行なった。

なお、4月以降も年間を通して、奨学金・学納金についての相談を受付けている。

2. 健康相談等

(1) 定期健康診断の実施

年度当初のガイダンス時(4月)実施

内容：身長・体重・視力・血圧・内科検診・胸部X線間接撮影・心電図・尿検査
受診率 90%

これらの受診結果を基に、学生個々に生活指導を行なうと同時に、メンタルな健康保持のため、面接時に状況を聴取している。

学生支援委員会のもと学生支援室の職員が主にその担当となるが、女子学生の増加に伴い、女性教員が担当を分担している。

就職部門

(1) 就職ガイダンスと就職セミナーの実施

4月、6月、1月の3回実施。延べ80名超が参加。

(2) 就職相談の受付

年間を通して就職支援担当者が相談受付を行っており、就職率は高い。

図書館

(1) 図書館ガイダンス開催(4月)

(2) 身延山宝物館・身延山大学図書館合同による展覧会および、当大学教授による講演会の開催(5月～6月)

(3) 寄贈図書受入、登録の実施

(4) 運営委員会・図書選定の実施(各年2回)

(5) 書道履修学生の作品展の開催(6月・11月～2月)

(6) 学生(個人)による「切り絵展」の開催(11月～2月)

(7) 学生支援の一環として学生アルバイト3名受入(5月～3月)

東洋文化研究所

(1) 日蓮宗教学研究発表大会を本学にて開催(10月)

(2) 所報の発行(1月)

(3) ラオスプロジェクトの実施(2～3月)

(4) 研究例会の開催(年2回)

(5) 叢書の発行「身延山資料叢書 目録集二」(3月)

(6) 悲母観音の制作(東日本大震災)

3. 高校 (高校躍進5カ年計画推進事業に則る)

1. 教育活動

(1) 学習活動

① 自宅生放課後学習会の実施(月・火・金)

② 定期試験2週間前の学習強化期間の設定

7校時の授業設定とゼミ班による学習指導・個別指導・朝小テストの実施。

③ 本院寮の定期試験2週間前よりの学習指導

④ 高大連携：高校生特別講座(年10回)

(2) 諸活動

- ①新入生歓迎会（５月）
- ②新入生宿泊研修（５月）
- ③３年ハワイ修学旅行（５月）
- ④１・２年奥之院登詣（５月）
- ⑤演劇鑑賞（６月）
- ⑥曙大豆種まき（６月）：学園祭にて販売
- ⑦緑のカーテン：エコ活動として（６月）
- ⑧教育実習生受け入れ（６月）
- ⑨ボランティア活動：みのぶ荘清掃（７月・１２月）
- ⑩体育祭（９月）
- ⑪校内弁論大会（１０月）：延山祭弁論大会にて発表
- ⑫延山祭（１０月）
- ⑬山梨県芸術文化祭総合開会式参加と手話通訳
- ⑭田富みかさ幼稚園交流会（１２月・２月）
- ⑮百人一首大会（１月）
- ⑯第２回身延町三校合同文化発表会（１月）：手話部、雅楽部、茶道部、書道部
- ⑰３年県内研修（２月）
- ⑱卒業生を送る会（２月）

(3) 本山出仕

- ①読誦会御廟参（毎月１３日）
- ②三大会（釈尊降誕会・開闢会・宗祖涅槃会）出仕
- ③四大法難出仕
- ④新入生霊跡参拝（４月）
- ⑤岡山行脚（１０月）
- ⑥節分会（２月）

(4) 生徒指導

- ①身延駅前指導（４月・７月・８月・１２月・１月）
- ②身延線乗車指導（５月）
- ③携帯電話教室（４月）
- ④誓願式（４月）・誓願法要（６月）
- ⑤薬物乱用防止教室（７月）
- ⑥自転車及び交通安全講習会（７月）
- ⑦防災訓練：避難訓練・三角布応急法・ＡＥＤ等（４月・１月）
- ⑧エイズ講演（１２月）
- ⑨身延山高校ルールブック作成

(5) 進路指導

- ①宿坊での就労体験（５月～８月）
- ②就職ガイダンス：キャンパスジョブカフェ（６月）
- ③各学年進路指導調査（５月・８月・１２月）
- ④一日看護体験（６月）
- ⑤入学試験・就職試験の事前面接指導

2. 設備管理

- ①空調設備の設置（昨年度未設置教室）
- ②体育館倉庫の設置
- ③生徒会倉庫の設置

3. 同窓会・師親会

- ①師親会（PTA）総会（5月）
- ②九州延山会に校長出席（8月）
- ③千葉同窓会に教頭出席（9月）
- ④北海道支部同窓会に教頭出席（11月）

4. 生徒募集

- ①学校説明会（6・7・8・9・10・11・12月）
- ②山梨・静岡中学校訪問（6～7月・12月・1月）
- ③学外協力委員に市川英昭先生を任用、静岡県中学校訪問
- ④生徒による出身中学校訪問（夏期休暇中）
- ⑤中学校教員対象学校説明会（10月）
- ⑥節分会にて広報活動（2月）
- ⑦中学校生徒の宿坊体験（通年）
- ⑧身延中学校、下山中学校、中富中学校での学校説明会参加
- ⑨ホームページの更新と発信
- ⑩「日蓮宗新聞」・「みのぶ」誌への広報掲載
- ⑪静岡県富士富士宮地方新聞「岳南新聞」への広報掲載
- ⑫学校案内・学校だより「法灯」・入学試験要項等の諸資料の送付

5. 平成24年度入試状況

受験者数：38名

合格者数 36名

入学者数：28名（仏教コース：9 普通コース：19）

（男子：20 女子：8）

6. 平成23年度卒業生進路状況：30名

大 学 身延山大学：12名（仏教学科：8名 福祉学科：4名）

立正大学：2名（仏教学部1名 心理学部1名）

専門学校：7名

就 職：7名